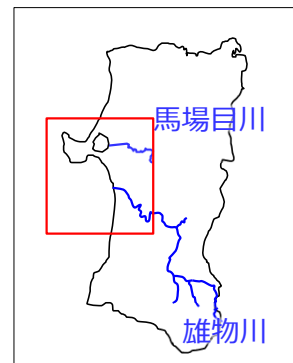


R6 雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクトの進捗状況

雄物川圏域流域治水協議会
雄物川下流圏域分科会

雄物川下流圏域分科会について

○令和5年7月15日からの大雨により、豪雨早急な災害メカニズムの把握及び治水対策メニューの策定を図るため、被害が集中していた雄物川下流域・馬場目川水系の関係8市町村を中心とした「下流圏域分科会」を令和5年8月8日設立。その後、作業部会を開催し、令和6年4月4日に雄物川下流圏域・馬場目川における水災害対策プロジェクトを策定・公表。



雄物川圏域流域治水協議会

令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、雄物川水系及び馬場目川水系において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行う。

■参加自治体：圏域内15市町村

作業部会（協議会）

作業部会（雄物川水系）

作業部会（馬場目川水系）



雄物川・馬場目川
流域治水プロジェクトの策定

R2.9～

今次災害を受け令和5年8月8日に設立

R5.8～

下流圏域分科会

令和5年7梅雨前線による大雨をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、雄物川流域下流及び馬場目川水系において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とする。

■参加自治体：下流圏域内8市町村

作業部会（分科会）

作業部会（雄物川下流域）

作業部会（馬場目川水系）



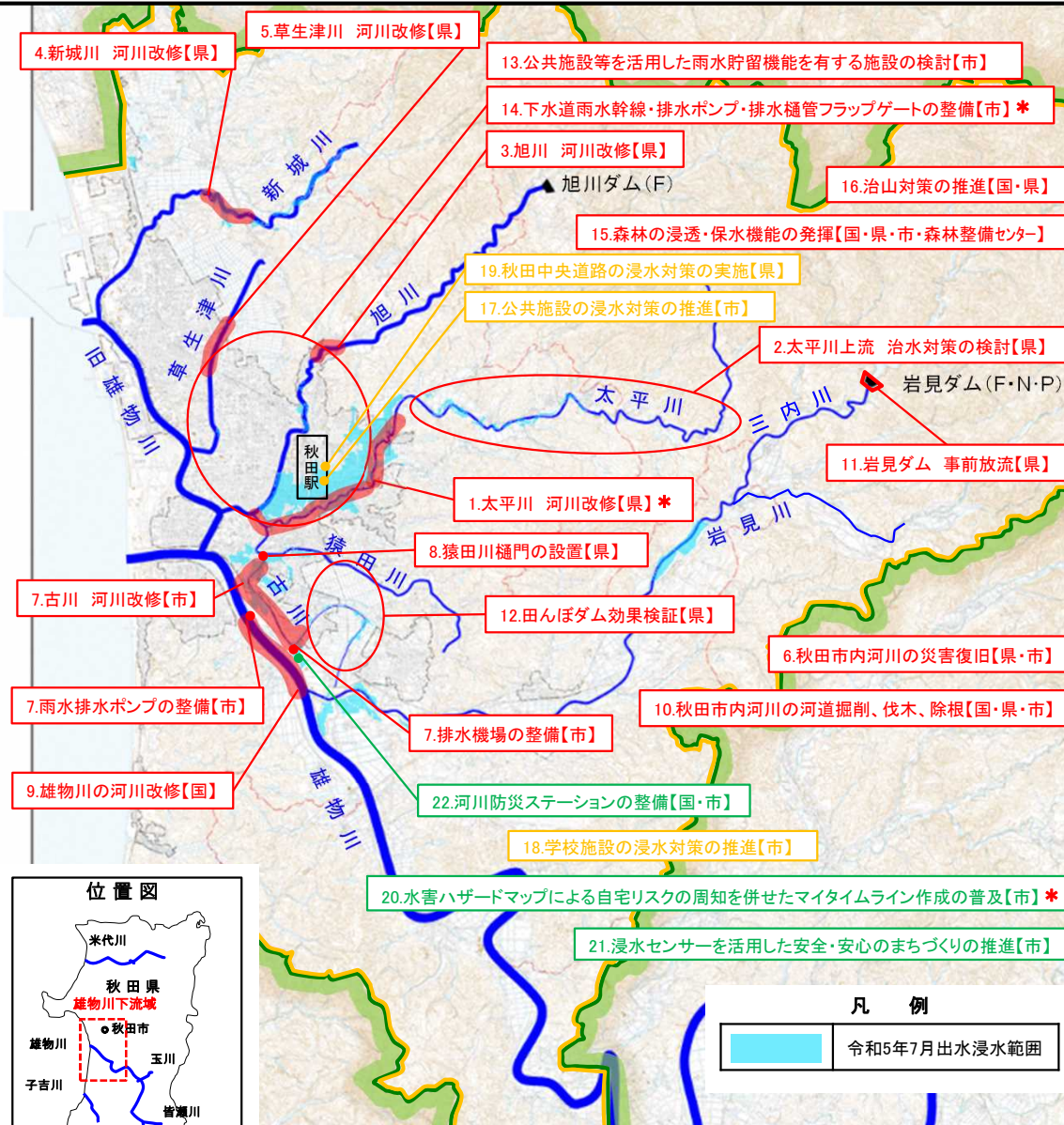
雄物川下流圏域及び馬場目川
水災害対策プロジェクトの策定

雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

R6.4.4公表

- 令和5年7月15日からの大雨により、太平洋川の越水をはじめ秋田市街地の大規模浸水被害が発生したことから、雄物川下流圏域では、国、県、市等が連携し、以下の対策を実施する。
- ・ 国は雄物川の河川改修、県は太平洋川、岩見川等の河川改修、災害復旧の対策を集中的に実施するとともに、秋田市は下水道の整備や浸水対策の検討を行い、令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減する。
 - ・ これらの推進を図るため、内水被害等軽減対策計画(新規施策)に、太平洋川の河川改修や下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備、ソフト対策等を位置付け、治水対策等の加速化を図るとともに、「流域治水」の深化に向けて、特定都市河川制度(特定都市河川の指定)を活用した取組を推進していく。
 - ・ なお、引き続き被害軽減に向けて浸水対策の検討を行っていく。



* 内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策等の加速化を図ります。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

- 事業期間 令和5年度 ～ 令和14年度
- 事業費 約639億円【国:約13億円、県:約417億円、市:約209億円】
※このほか、費用が確定した段階で、事業費に追加になります
※事業費については今後変更となる可能性があります
- 目 標 令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策

- 1.太平洋川の河川改修【秋田県】*
- 2.太平洋川上流 治水対策の検討【秋田県】
- 3.旭川の河川改修【秋田県】
- 4.新城川の河川改修【秋田県】
- 5.草生津川の河川改修【秋田県】
- 6.秋田市内河川の災害復旧【秋田県・秋田市】
- 7.古川の河川改修や排水機場等の整備【秋田市】
- 8.猿田川樋門の設置【秋田県】
- 9.雄物川の河川改修【国交省】
- 10.秋田市内河川の河道掘削、伐木、除根【国交省・秋田県・秋田市】
- 11.岩見ダム事前放流【秋田県】

○集水域での対策

- 12.田んぼダムの効果検証【秋田県】
- 13.公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討【秋田市】
- 14.下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備【秋田市】*
- 15.森林の浸透、保水機能の発揮【林野庁・秋田県・秋田市・森林整備センター】
- 16.治山対策の推進【林野庁・秋田県】

■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策

- 17.公共施設の浸水対策の推進(エレベーター施設等)【秋田市】
- 18.学校施設の浸水対策の推進(受変電施設、空調室外機等)【秋田市】
- 19.秋田中央道路の浸水対策の実施【秋田県】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

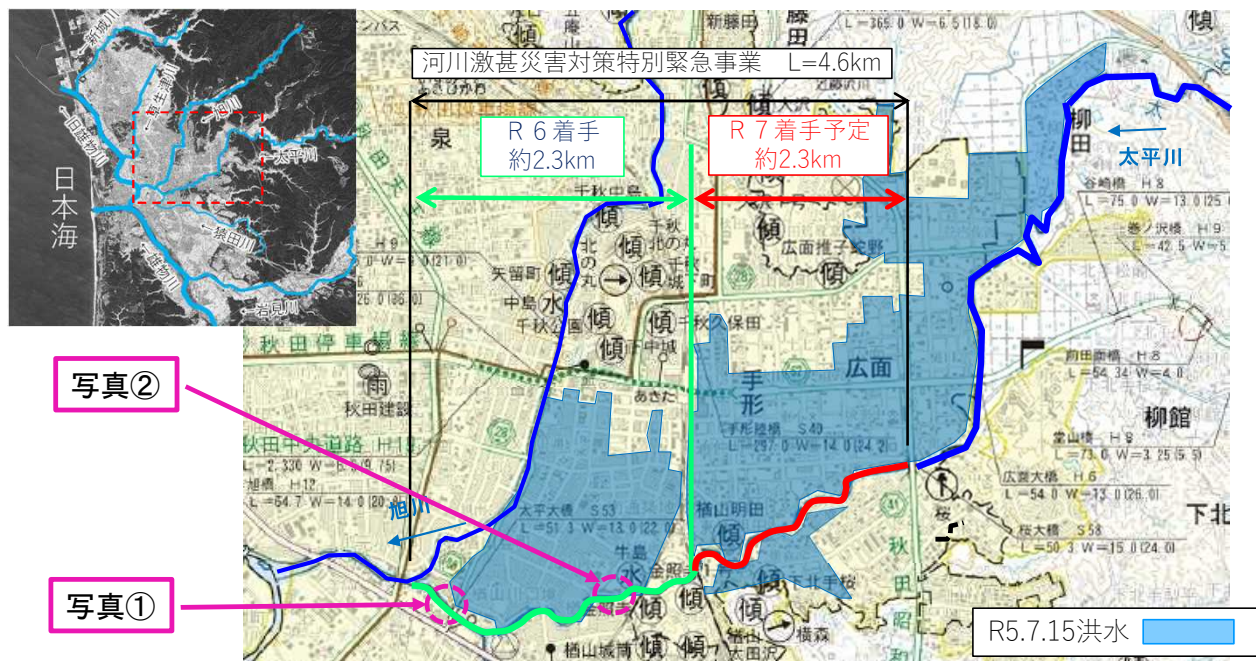
○氾濫域での対策

- 20.水害ハザードマップによる自宅リスクの周知を併せたマイタイムライン作成の普及【秋田市】*
- 21.浸水センサーを活用した安全・安心のまちづくりの推進【秋田市】
- 22.秋田地区河川防災ステーションの整備【国交省、秋田市】



河川激甚災害対策特別緊急事業

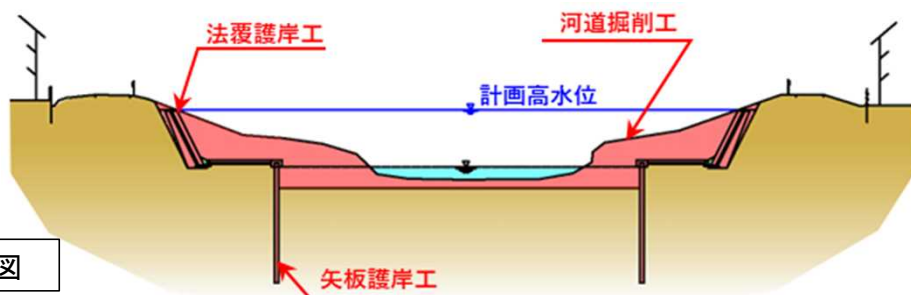
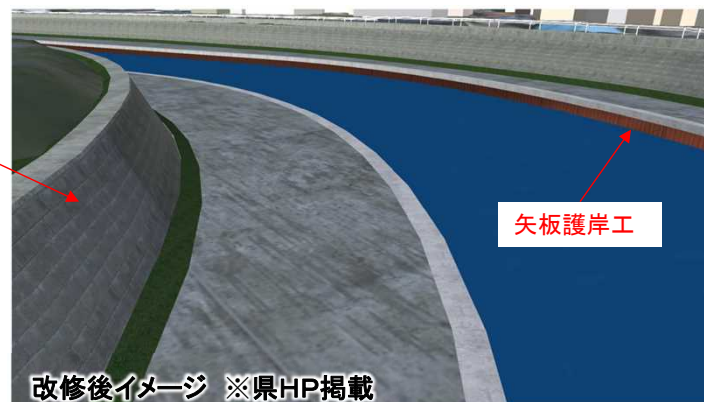
- 目的：川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させる（河道掘削工）。掘削後の法面保護のため、護岸を設置する（法覆護岸工等）。
- 内容：事業延長4.6km（旭川合流点～桜大橋付近）
令和6年度は、下流区間約2.3kmの工事に着手（予定工期R6～R9）
令和7年度は、上流区間約2.3kmの工事に着手予定（予定工期R7～R10）
- 期間：令和5年度～令和10年度（短期間で集中的に整備）
- 事業費：195億円

写真① 施工状況(秋田市卸町付近)
護岸工、鋼矢板

R7.1.24撮影

写真② 施工状況(秋田市櫛山付近)
仮橋の施工

R7.1.24撮影



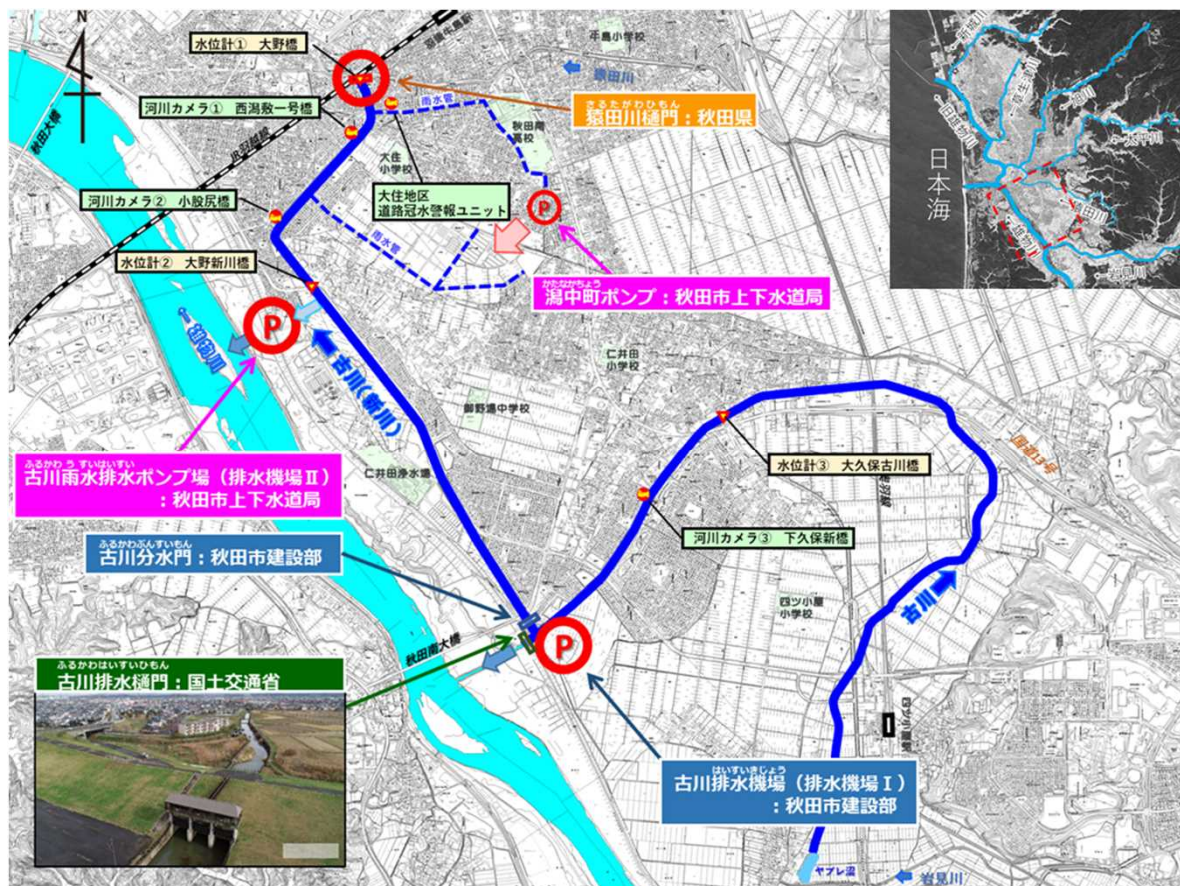
標準横断図

7. 古川の河川改修や排水機場の整備【秋田市】

- ・古川沿川において、内水を強制的に河川へ排水する排水ポンプを整備し、また川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させ、家屋浸水被害の軽減を図ります。

- 事業内容：河川改修、排水機場等の整備
- 事業期間：令和2年度～令和7年度
- 施行地：秋田市仁井田ほか

- ・過年度に引き続き、R6年度も河道掘削を実施。
- ・古川排水機場および古川雨水排水ポンプ場は、R5年度から工事に着手し、R7年度の完成に向けて施工中。



古川(仁井田字新中島付近)河道掘削状況写真



古川排水機場(四ツ小屋字中山付近)整備状況写真(R6.11)



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

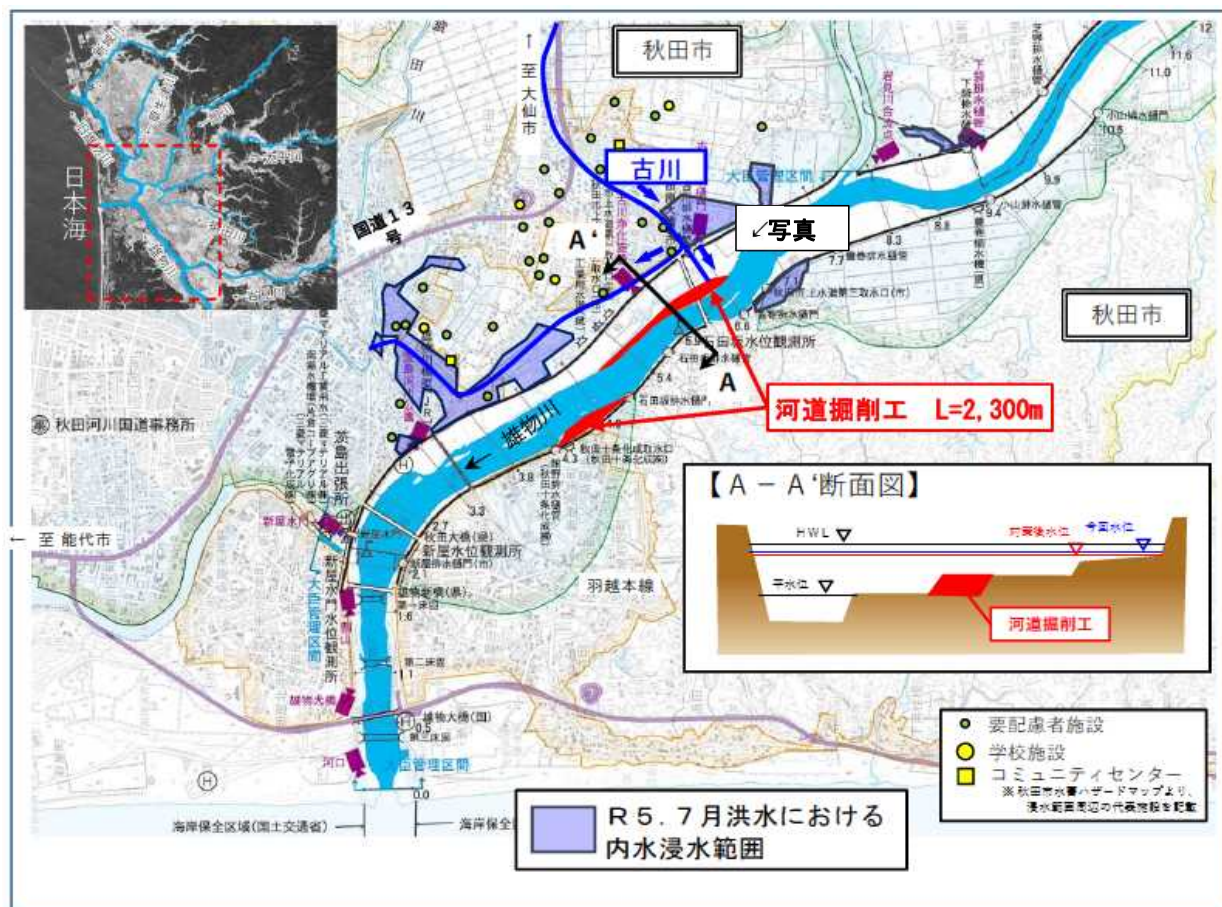
9. 雄物川の河川改修 【国土交通省】

- ・延長2.3km（秋田南大橋下流付近）において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させます。なお、掘り出された土砂は周辺の事業で有効活用を図っています。

- 事業内容:河道掘削
- 事業期間:令和5年度
- 事業費:13.3億円(防災減災対策等創生事業推進費)
- 施行地:秋田市仁井田ほか

R6.7から現地着手。工事継続中。

雄物川右岸(秋田南大橋付近)河道掘削状況写真



13. 公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討 【秋田市】

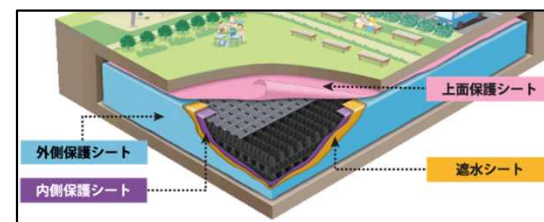
- ・令和5年7月梅雨前線による大雨で浸水被害が発生した箇所にある公共施設等において、施設の改修などに併せて、雨水貯留機能を有する施設を検討します。

R6. 11月から広面地区（大学病院周辺）について計画策定業務を実施中。



- 事業内容: 公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討
- 事業期間: 令和5年度～
- 施行地: 秋田駅東地区を想定

【雨水貯留施設の例】

駐車場地下へのコンクリート
による貯留槽の整備イメージ調整池からの浸透構造を有する
プラスチック貯留槽の整備イメージ
 ※調整池の維持管理が必要公共施設(道路・緑地帯)の地下へ
プレキャスト製品による貯留槽
整備のイメージ

※地下埋設物の移設が必要

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

21. 浸水センサー等を活用した安全・安心のまちづくりの推進 【秋田市】

- ・地区住民の安全・安心な生活を確保するために、道路冠水と河川氾濫状況の見える化を図り、住民に対して注意喚起や現況を的確に伝達するとともに、通行止めなど市の迅速な現地対応に繋げる有効な手段を構築し、防災・減災意識を向上させる。

- 事業内容: センサー、警報ランプ、サイレン、ネットワークカメラ、通信ユニット、量水標
- 事業期間: 令和3年度～令和7年度
- 施行地: 秋田市大住ほか

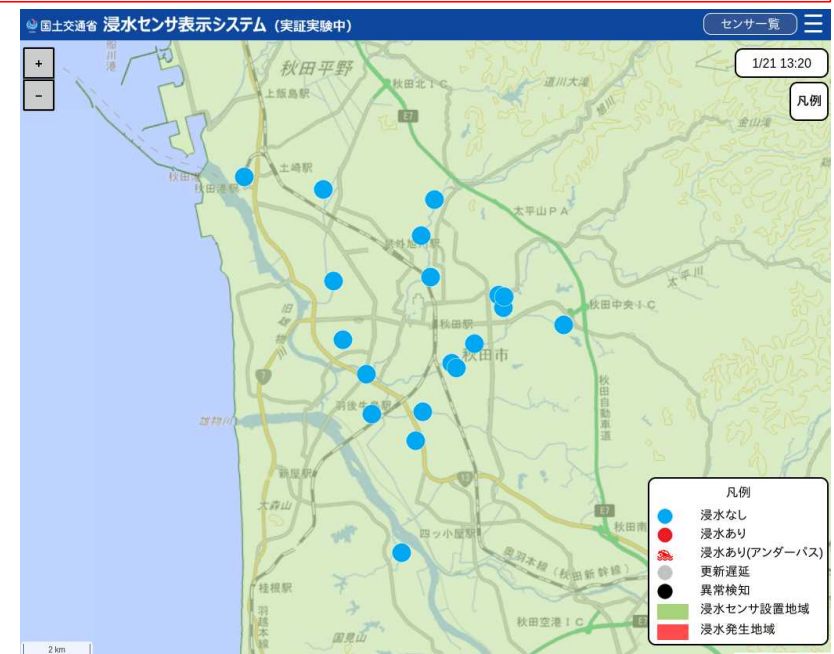
- ・国土交通省によるR6年度ワンコイン浸水センサ実証実験に参加。
浸水センサを令和5年7月豪雨災害の浸水被害箇所などに20基設置し、令和6年7月から運用開始。
- ・国土交通省のワンコイン浸水センサ表示システムがR6.11.14から一般公開開始。

○ワンコイン浸水センサー設置概要

- ・R5. 7大雨による浸水被害のあった秋田市内各地区に計20箇所設置
- ・7月上旬運用開始



▲ワンコイン浸水センサ取付状況



浸水センサ表示システム画面

浸水センサ表示システムは以下WEBサイトで確認できます。
<https://c-sensor.river.go.jp/>

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

22. 河川防災ステーションの整備 【国土交通省・秋田市】

- ・雄物川下流域の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動に使用する緊急用資材の備蓄、作業車両の駐車場、ヘリポート等の機能を備えた秋田地区河川防災ステーションを整備するとともに、秋田市が水防センターを設置し、災害時活動拠点施設を整備する。

■事業内容：盛土造成、緊急復旧用資材の備蓄（土砂、岩ズリ、根固めブロック等）、ヘリポート、水防センター

■事業期間：令和5年度～令和8年度

■施行地：秋田市仁井田



秋田地区防災STの盛土はR6.7.25着手し、R7年度内に完了予定。



秋田地区河川防災ステーション盛土施工状況写真
(R6.11末現在)



- 令和5年7月秋田県内を襲った記録的大雨被害からまもなく一年となることから、雄物川流域治水協議会下流圏域分科会で関係機関が取り組んでいる治水対策をパネルで紹介
- 本展示を通じて災害の記憶を忘れずに流域治水の理解と自分事として命を守る行動につなげてもらうことを目的に開催

6月6日(木)リリース 【取材申込】 ABS秋田放送 / AKT秋田テレビ

- ＜場所＞ 秋田駅東西連絡自由通路【ぽぽろーど】
- ＜期間＞ 6月10日(月)～14日(金) 5日間
- ＜主催＞ 雄物川流域治水協議会下流圏域分科会
- ＜内容＞ 「大雨と被害の状況」「水災害対策プロジェクトの取り組み」「内水浸水想定区域図」

パネル展は秋田駅を利用する多くの方々にご覧頂いた！



[マスコミ取材] ～ パネルをご覧になった方のコメント ～

- ・去年は大変だったからまた大雨にならないければ良い
- ・もうすぐ梅雨の季節なるから早めに対策をすすめてほしい
- ・これから去年みたいな時期になるかと気にしている
- ・去年は浸水がひどかったので心配です
- ・車は避難させたいと思っているが具体には決まってないので早く備えたい



秋田河川国道事務所 撮影



ABS秋田放送 news every. より

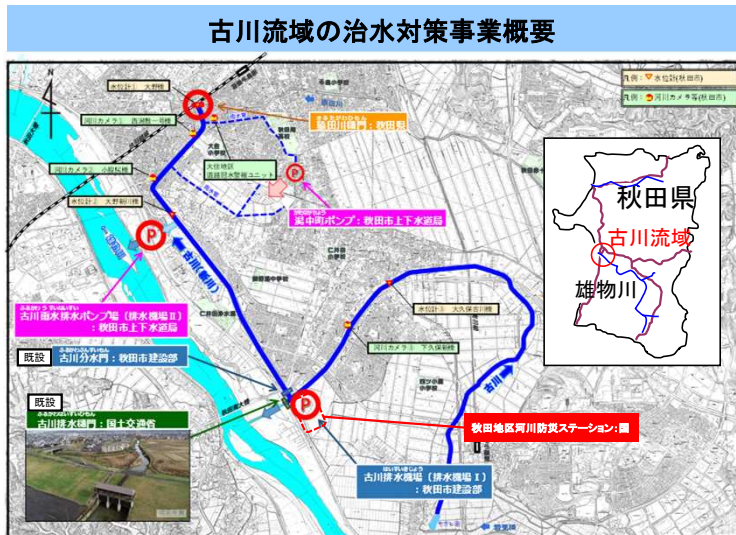
■古川流域では、頻発する浸水被害に対し、秋田県、秋田市、国が『古川流域の総合的な治水対策協議会』を設置し、関係機関が連携し一体となった古川流域の流域治水対策を推進している。

■今般、関係機関の主要事業の着工にあたり、**令和6年6月16日(日)に着工式を開催。**

6月7日(金)リリース

【取材申込】

ABS秋田放送 / AKT秋田テレビ / AAB秋田朝日放送 / (株)News Bank
秋田魁新報社 / 読売新聞社 / 建設新聞社 / 秋田建設工業新聞社



＜祝辞＞
衆議院議員
富樫 博之



＜挨拶＞
秋田県知事
佐竹 敬久



＜挨拶＞
秋田市長
穂積 志



＜挨拶＞
東北地方整備局長
山本 巧



＜期待の言葉＞
仁井田地区振興会長
相場 隆



▲仁井田伝統芸能保存会による演舞



▲鍬入れの様子

- 自然災害を住民の皆様が自分事として捉えて頂くことを目標に『あきた災害の記憶伝承』リーフレットを作成
- 繰り返す自然災害への備えを教訓として後世に遺すため「県内で繰り返されてきた災害」「地域に伝わる言い伝え」「身近にある石碑」などの情報を『あきた災害の記憶伝承』としてとりまとめ
- 『あきた災害の記憶伝承』は災害リスクを自分事として捉え自分が住んでいる地域のリスクを把握して命を守る行動につなげてもらうことを期待して防災教育や伝承活動等へ活用

7月3日(水) リリース 【取材申込】 秋田魁新報社 / AAB秋田朝日放送 / 毎日新聞社

○リーフレットの作成、配布〔3,000部〕

- ・関係各施設へ配布【秋田河国、秋田県、災害情報が記載している市町村、道の駅、観光協会、教育施設 等】
 - ・出前講座、総合学習教育、観光案内による周知【小中学生、自治会、自主防災組織 等】
- 本リーフレットを活用した防災教育、伝承活動により防災知識を習得



○取材対応(地元紙:秋田魁新報)

▲「あきた災害の記憶伝承」リーフレット



▲取材対応状況



災害の備えに...「記憶伝承」冊子完成 県内32地点取り上げる

国土交通省秋田河川国道事務所は、過去に県内を襲った災害を伝承し、次の災害への備えに生かしてもらおうと「あきた災害の記憶伝承」リーフレットを作った。

リーフレットでは、昨年7月の記録的大雨で被災した秋田市中心部のほか、過去に地震で被害を受けるなどした県内32カ所について、地図とともに紹介している。一部は県民からの情報提供を得て、反映させたという。

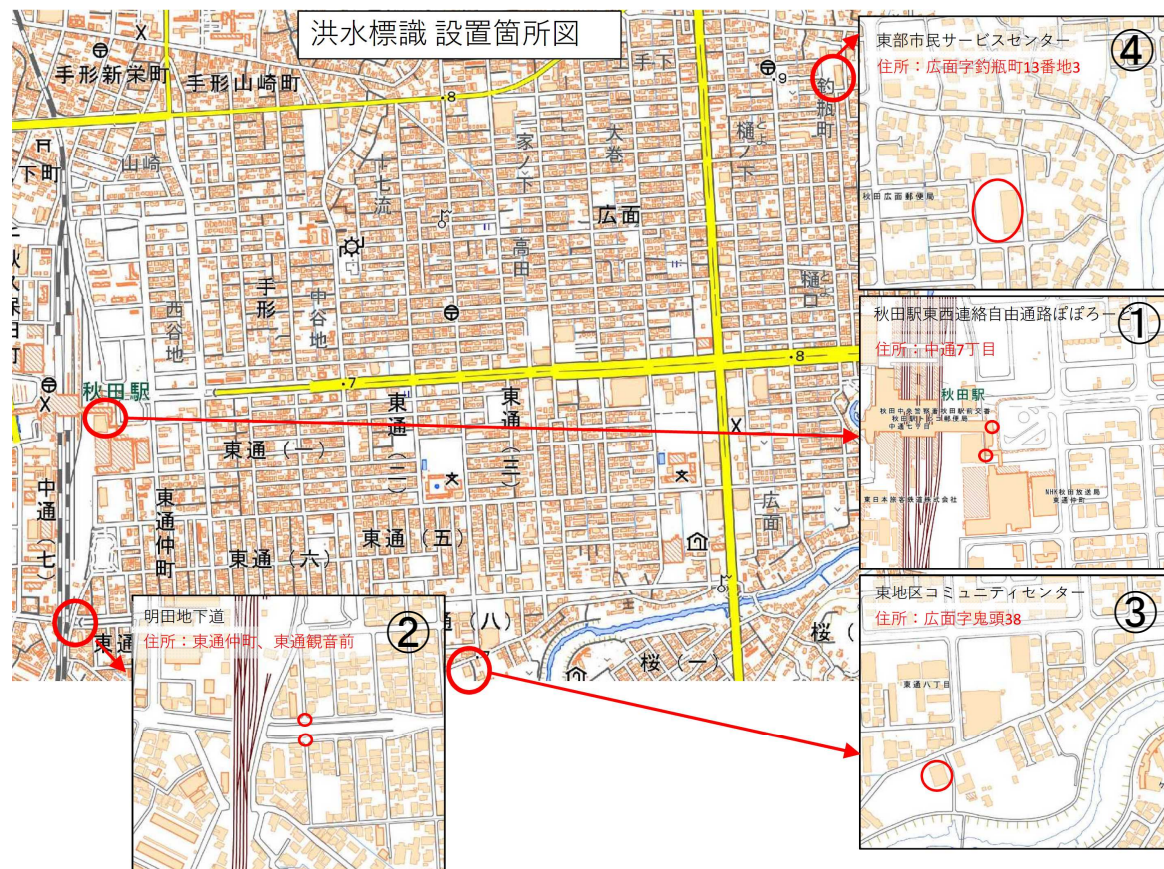


▲新聞掲載記事(電子版) 秋田魁新報



■ 令和5年7月秋田県内を襲った記録的大雨による洪水を契機に自身が住んでいる地域で発生した洪水被害を振り返り、水害リスクを自分事として認識してもらい洪水に備える(R6.7.29リリース)

<表示場所> ①秋田駅東口(2箇所) ②明田地下道(2箇所) ③東地区コミュニティセンター ④東部市民サービスセンター



①秋田駅東口(2箇所)



②明田地下道(2箇所)



③東地区コミュニティセンター



④東部市民サービスセンター



【日時】令和6年12月23日(月)14:30～ 秋田地方総合庁舎6F605会議室

【目的】R5.7大雨による秋田市街地での浸水被害発生により、雄物川下流圏域流域治水協議会にて「水災害対策プロジェクト」をとりまとめ後、流域治水対策をより深めていくことを目的に、旧雄物川流域6河川(旧雄物川、旭川、太平川、猿田川、草生津川、新城川)においてR6.11.8に特定都市河川及び特定都市河川流域に指定。

特定都市河川に指定した旧雄物川流域において流域内のあらゆる関係者が一体となり、総合的な水害対策の効果的かつ円滑な実施を図るための「旧雄物川流域水害対策計画」策定に必要な協議や連絡調整を行うもの。

【協議会メンバー】秋田河川国道事務所、西奥羽土地改良調査管理事務所、秋田森林管理署、秋田市(総務部、産業振興部、建設部、都市整備部、上下水道局)、秋田県(総務部、農林水産部、建設部、秋田地域振興局)、学識経験者秋田大学名誉教授松富英夫



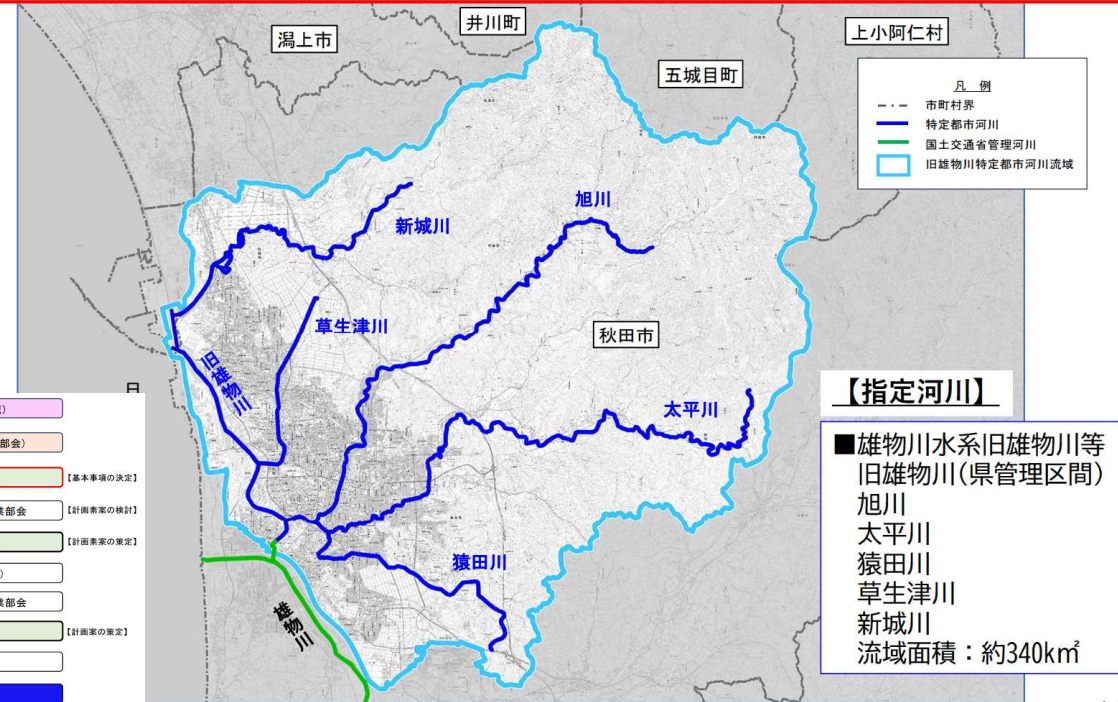
協議会状況

※詳しくは、下記HPまたはQRコードよりご確認ください。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/80402>

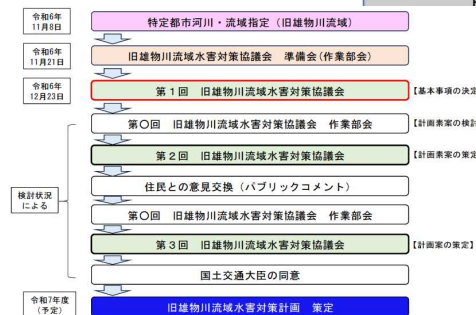


旧雄物川流域6河川を「特定都市河川」に、その流域を「特定都市河川流域」に指定(R6.11.8)



【議事概要】

- 計画の基本的な考え方
水災害対策プロジェクト等の取組を基本として、流域治水の深化を図る
- 計画期間
今後開催する協議会において決定
※概ね20～30年間を目安に具体的な対策案を検討
- 計画対象降雨
令和5年7月と同規模の大雨と設定
浸水被害の大幅軽減を目標に検討を行う
- 今後のスケジュール※右記



今後のスケジュール

■主催：秋田魁新報社 ■共催：イオン東北 ■後援：秋田河川国道事務所・秋田県・秋田市

■日時：令和7年1月19日（日） 午前10:30～、午後14:30～の2回

■場所：イオン秋田中央店2F 催事場

■参加：一般公募による親子連れなど 57名参加

■内容：地域住民へいつでも起こる可能性がある地震や洪水に対し、自らの命や財産を守る「防災・減災」の知識を届けるものとして、令和5年7月の記録的な大雨で浸水被害のあった秋田市街地を段ボールを利用して立体地図を作成し、学校や自宅付近の土地形状を把握して災害の恐れや避難場所を知っていただくことを目的としたイベントを開催



防災授業の様子（イオン秋田中央店2F催事場）



秋田市街地の段ボール立体ジオラマ



段ボール組立状況



立体ジオラマでの災害想定箇所の把握



マイタイムラインの説明状況
（秋田河川国道事務所 流域調査課長）